

血液内科研修プログラム

I プログラムの一般目標 (GI0)

医師としての人格を涵養し、社会的役割を認識しながら、内科医として患者さんに対する全人的医療を实践するために内科一般の総合的臨床能力を基礎として、血液内科に必要な、倫理的、科学的、臨床疫学的、行動科学的、社会福祉学的、医療経済学的な知識と技術を習得する。

II 行動目標 (SB0s)

1. 患者およびその家族、医療者とコミュニケーションをとり、基本的な身体診察をすることができる。
2. 診療録（退院時サマリーを含む）を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる。
3. 問診・身体所見を通して、患者、その支援者に寄り添った検査の計画を立案できる。
4. 診断・治療に必要な基本的検査および手技（IV に記載）を実施できる。
5. リンパ節生検など侵襲的な検査適応を判断し、他診療科へのコンサルテーションを実施できる。
6. 確定診断に対する化学療法などの治療計画を立案できる。
7. エビデンスに基づき、医療安全に留意した適切な支持療法を実施できる。
8. 抗菌薬適正使用支援 (Antimicrobial Stewardship : AS) プログラムなど感染対策を理解できる。
9. 造血幹細胞移植について、HLA などの基礎知識を学び、移植適応などを理解できる。
10. プライバシーに配慮し、患者および家族に対して、インフォームド・コンセントを実施できる。
11. 多職種によるチーム医療の重要性を理解できる。
12. 高額医療、指定難病などに関わる医療費助成制度を理解できる。
13. 患者病状、社会的背景などを総合的に評価し、退院調整を立案できる。
14. 治療不応、終末期等、精神負担の多い患者に対する緩和ケアを实践できる。

III 方略 (LS)

1. 指導医または上級医と共に、入院患者の担当医となり、診療録記載を含めた受け持ち患者の診療に従事する。
2. 指導医または上級医に対し、患者状態、データ異常について報告・連絡し、その対応を相談する。
3. 指導医または上級医と共に、外来にて初診患者の診察を実施し、経過に応じた再診を経験する。
4. 指導医または上級医の指導のもと、基本的手技（IV に記載）を実施する。
5. 指導医または上級医と共に、血液・骨髄検査、細菌検査、画像検査などを計画・実施し、評価する。
6. 指導医または上級医と共に、薬物療法、輸液療法、輸血療法、放射線化学療法、緩和医療を実施する。
7. 指導医、上級医または指導者の指導のもとに、血液カンファランスにてプレゼンテーションを行い、積極的に討議し、提示された問題点を解決する。
8. 診療科部長と共に、病棟回診に帯同し、迅速に担当以外の診療概要を理解する能力を向上させる。
9. 指導医、上級医または指導者と共に介護保険制度など社会保険制度介入の必要性、指定難病の申請適応対象であるか検討する。
10. 指導医、上級医あるいは指導者と共に、患者の免疫状態を総合的に判断し、抗菌薬の使用にあたり抗菌薬使用について適切な薬物血中濃度測定に応じて投与量調整を行う。
11. 指導医、上級医あるいは指導者と共に、早期のリハビリテーション計画を実施する。
12. 指導医、上級医あるいは指導者と共に、末期血液がん患者の意思決定を尊重した診療計画を立案し、緩和ケアチームへのコンサルテーション、アドバンス・ケア・プランニング (ACP・人生会議)、あるいは

は地域医療として在宅医療が必要な患者およびその家族に対する退院調整会議などに参加する。

13. 指導医、上級医と共に、不幸にして亡くなった患者に対する剖検の承諾を得る。
14. 上級医・指導医の指導のもと、臨床的疑問に対して治療診断指針、ガイドライン、インターネットでの文献・情報収集（pubmed、UpToDate 検索など）を用いて最新の情報を収集する。
15. 指導医、上級医または指導者とともに移植カンファレンス、がんゲノム医療に関連したエキスパートパネルカンファレンスなどに参加し、チーム医療の重要性を理解する。
16. 全職種と共に医療を実践し、互いの立場を理解、手本としつつ、承認文化の重要性を理解する。

IV 経験すべき診察法・検査・手技

1. 末梢血塗末標本の読影
2. 血液型判定・交差適合試験
3. 骨髄穿刺・生検（局所麻酔含む）
4. 中心静脈カテーテル留置（局所麻酔含む）
5. 腰椎穿刺（局所麻酔含む）

V 経験すべき症状・病態・疾患

1. 白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・骨髄異形成症候群などの造血器腫瘍
2. 貧血（鉄欠乏性貧血・二次性貧血）・再生不良性貧血
3. 特発性血小板減少性紫斑病
4. 播種性血管内凝固症候群を含む凝固異常
5. 感染症（細菌感染症・真菌感染症・ウイルス感染症）
6. 発熱（造血器腫瘍、感染症、移植後免疫反応、薬剤熱、不明熱など）

VI 評価(EV)

1. PG-EPOC による評価を行う。

血液内科スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 病棟カンファ 診察・手技実習	オリエンテーション 病棟カンファ 診察・手技実習	オリエンテーション 病棟カンファ 診察・手技実習	オリエンテーション 病棟カンファ 診察・手技実習	オリエンテーション 病棟カンファ 診察・手技実習
昼				ランチミーティング	
午後	NST カンファ 手技実習	移植合同カンファ 手技実習 がんゲノムカンファ	緩和ケアカンファ 手技実習	抄読会 手技実習 病棟部長回診	退院支援・リハビリ カンファ 手技実習 指導医チェック
		血液内科カンファ	消化器・ 血液カンファ	医学英語実習	